

| 学年 | 氏名 | 2026年度の目標 | | 今年度の意気込み | 陸上競技部における部員の目標・オリジン | |
|----|--------|---------------------------|---------------------------------|---|--|--|
| | | 記録 | 実績 | | 在学中の目標 | 目標達成の理由 |
| M1 | 長井 遥斗 | 三段跳: 15.45m | 日本IC出場 西日本IC入賞 15.20m | 自己ベスト更新を第1に上位大会への進出と入賞を目指し、自分の課題1つずつ解決するつもりです。 | 三段跳で2026年8月8日までに15.45m(日本ICのB標準記録突破)を目指します! | 自己記録の更新とあわせて大学院の2年間で大学院入学前の最高成績を超えることで、自分の成長を確認し、自分に自信を持ちたいからです。 |
| 4 | 田邊 海士 | 走幅跳: 8.00m | 日本IC優勝 | 大学4年間の集大成として、これまで支えてくれた家族や仲間、指導者へくださった先生方に感謝を届け、感謝を伝える。 | 私は大学競技生活最後の年として、9月に日産スタジアムで行われる日本ICの走幅跳で8.00mを突破し、優勝します。 | これまで競技を続けてこられたのは、家族や仲間、先生方の支えがあってこそであり、その恩は結果で示すべきだと考えているからです。また自己ベストを更新した際、仲間が自分以上に喜んでくれた経験から、競技は人の心を動かすものだと思えたため、今年の日本ICで家族や先生方に感謝を届けられる選手を目指し、覚悟を持って取り組みます。 |
| 4 | 泉野 侑太 | 走幅跳: 7.40m | | 10月の学内競技会で7.40mを跳ぶ。そのためにも1試合1試合、現状から適切な目標を設定し、競技を楽しみながら試合に臨む。 | 2026年10月31日の学内競技会において、走幅跳で7.40m以上を跳びます。順位は1位を目指します。 | 1つは「人間的成長」をしたという事実を、長く時間を費やした陸上競技の結果として形に残したいからです。もう1つは、西日本ICのA標準を突破したという事実が、これからの人生の自信に繋がると思っています。ここで言う人間的成長とは、物事を一面的ではなく多面的に捉えること。失敗から学び変化し続けること。今までは違った選択をすることで選択肢の幅を広げられるようになることを指します。 |
| 4 | 一ノ瀬 来 | 走幅跳: 7.00m | | 高校の時に達成できなかった7.00mを跳んで、悔いなく競技人生を終りたい。 | 2026年11月までに7.00mを跳んで目標を達成する。 | 高校生の時に達成できなかった目標を達成して、「やり切った」という満足感を得たいからです。 |
| 4 | 美坂 春樹 | 走幅跳: 7.10m | 西日本IC出場 | 今年こそ、必ず自己ベストを更新する。これまで積み重ねてきたすべてを結果で証明する年にする。 3年次編入でもここまでやれるんだと、結果で示し、後には誰か人たちの道切り役になる。自分の挑戦が、誰かの希望になるように。誰よりも強く自分の限界を超えるために、戦い抜く。 | 熊本で開催される九州インカシにおいて、自己ベストを更新(7.10m)し入賞する。 | 生進ペースを更新したいからです。 |
| 4 | 國見 砂星 | 走幅跳: 5.35m | 九州学生選手権入賞 | ベストタイでは終われません。フラットからの脱却。ジャンプサーキットを乗り越えたい私を魅せる。 | 走幅跳で引退試合までに5.35mの自己ベストを出すことで達成感を得る。 | 5年間出ていない自己ベストを更新すると自己肯定感が上がるからです。 |
| 3 | 山之内 壮吾 | 走高跳: 2.15m | 西日本IC優勝/ 日本IC入賞/ 日本CH標準突破 | 確実に日本ICに出場する 最後までやりきる | 私は走高跳で大学4年次に日本ICで2.25cmを跳び、優勝する。その為には大学3年次の西日本ICで、日本ICのB標準を突破し、3年次での日本ICで2.15mを跳び入賞する。 | 達成したい理由としては、日本ICで優勝し、自己記録が2.25mであれば将来実業団選手として活動が続けられるからです。 |
| 3 | 岩下 優世 | 走高跳: 2.00m | 西日本ICのB標準突破 | 今年こそは自己記録を更新し、最大目標である174cmで日本IC出場に近づくような年をしたい。 | 走高跳で大学4年次の7月頃に開催される鹿児島県選手権大会で日本ICのB標準(2m10)以上を跳び、優勝する。 大学3年次では最終目標に近づけるように2026年10月31日~11月1日の最終記録まで2.00mを跳ぶ。 | 私が目標を達成することで今まで教えてくださった先生、コーチ、応援してくれた仲間や家族への恩返しになるからです。 |
| 3 | 村北 一心 | 走幅跳: 7.30m | 九州選手権出場 | 今年こそは走幅跳PBを出す。 | 3年次 宮崎県選手権 走幅跳 7.00m 6位 4年次 宮崎県選手権 走幅跳 7.70m 1位 | 地元開催の国スポ代表に選ばれて、これまで応援してくれた人々に結果で恩返ししたいから。 |
| 2 | 安楽 智輝 | 三段跳: 15.60m 走幅跳: 7.40m | 日本IC出場 | 大幅PBを出すために日々の準備を徹底する。結果にこだわって、やり切れたと思えるシーズンにする。 | 2年次 三段跳 日本IC出場 8月の競技会 15.60m 3年次 三段跳 日本IC入賞 15.85m 4年次 三段跳 日本IC優勝 16.20m | これまで自分を応援してくれた人々に結果で恩返ししたいからです。また、自分自身の競技人生の取り組みの答え合わせの結果で示したいからです。 |
| 2 | 藤井 優作 | 走高跳: 2.13m | 西日本IC3位以内/ 日本IC入賞 | 今年2.10m台を安定して跳び、全国で戦える選手になる。また、陸上競技部を鼓舞できる選手になる。 | 2年次 走高跳で2.15mを跳び西カレ3位以内、日本IC入賞 3年次 走高跳で2.19mを跳び日本IC3位以内 4年次 走高跳で2.22m以上を跳び日本IC優勝、国スポ入賞、徳島県記録更新、体大記録更新 | 全国で戦い勝てる選手になりたいから。また、鹿屋体育大学陸上競技部の象徴と言われるような選手になりたいからです。理由としては自分がこれまで積み重ねてきた努力が正しかったことを証明したいという思いがあるからです。また、自分の競技に対する姿勢や挑戦する姿を通して陸上競技部員に良い影響を与え、鹿屋体育大学陸上競技部の象徴という選手になりたいからです。 |
| 2 | 結城 匠輝 | 三段跳: 15.40m 走幅跳: 7.00m | | 今年こそは大幅なPB更新をし、上位大会の出場を目指す。 | 2年次 三段跳で15.45mを跳び日本IC出場。 3年次 三段跳で日本IC入賞(15.70m)。 4年次 三段跳で日本IC優勝(16.00m)。 | これまで、応援して下さった方々に、結果という明確な形で恩返しをしたと考えているからです。また、達成感を感じたいからです。 |
| 2 | 矢代 典聖 | 三段跳: 15.00m 走幅跳: 7.00m | 西日本IC出場 県選手権優勝 | 昨年に引き続き三段跳、走幅跳共に自己ベストを更新する! たくさんの部員と話し合って競技力向上にいきます。 | 2年次 三段跳で、新人戦15.00m以上、優勝 3年次 15.60mで、日本IC入賞 4年次 15.80mで、日本IC3位、日本選手権出場 | 自ら実践するスポーツ科学的アプローチの有効性を記録で証明するため。 |
| 2 | 吉留 健太郎 | 走高跳: 2.05m | 九州IC入賞 | 今シーズンが終わるまでに西日本インカレA標準の2.05mを安定して跳べるようになる! | 2年次 走高跳で2.00m以上を跳び西日本IC出場。 3年次 走高跳で九州IC優勝(2.13m)。 4年次 走高跳で日本IC入賞(2.10m以上)。 | 2年次は、自己の成長や高満足感を体感したいため。 3年次は、勝負するステージ全国大会に上げたいから。 4年次は、最終学年で全国大会入賞という最高の美を飾りたいからです。 |
| 2 | 岩下 晴香 | 三段跳: 11.70m | | 大幅自己ベスト出す!九州選手権8位入賞! | 2年次 九州選手権で11.50mを跳び、8位入賞する。 3年次 西日本ICに出場する(11.80m以上)。 4年次 日本ICに出場する(12.30m以上)。 | 2年次の目標の理由は、まだ九州選手権で決勝に残ることがないから達成したい。3年次の理由は、日本ICを目指すためにまずは西日本ICに出場することが重要だから。4年次の理由は、高校で全国大会を目指していたが福井から、大学では全国の舞台に立ててみたいから。この目標のために、1年ごとにベストをどんどん出していききたい。 |
| 2 | 伊藤 那瑠 | 100mH: 15.00s | 九州学生選手権出場 | PBを更新したい。 | 4年次に何かの種目で日本ICに出場する。そのため、標準記録に最も近い7種競技2年次から取り組み、それに向けて、 2年次 単種目の自己ベスト更新、 3年次 4500点以上 4年次 5000点を目指す。 | 私が目標を達成したい理由は、自分の自己肯定感を高めるためと家族や中学校・高校の恩師を喜ばせるためです。目標を達成することで、自信を持って陸上をやっていたと言えるようになりたいと思っています。また、今まで成し遂げることができなかった全国大会出場という目標を達成することで、これまで一緒に目指してきた家族や恩師に喜んで欲しいからです。 |
| 1 | 藤森 駿 | 走幅跳: 7.25m | 西日本IC出場 | 先輩たちとの交流を増やし競技力向上に繋げる。 | 1年次 西日本IC出場7.25m以上 2年次 西日本IC入賞 3年次 西日本IC入賞 九州IC3位以内 日本IC出場7.55m 4年次 日本IC入賞7.70m | 苦手な要素である助走速度の向上と筋力強化を目指します。具体的には、100mを11.43秒から10秒70まで高めます。筋力については、クリーンで100kg以上、片足スクワットを150kg以上へ向上させます。これに加えて、尊敬される競技者を目指します。尊敬されるには、誰かに言われる前に積極性といった要素が必要と考えます。そのための具体的な行動として、適切に状況判断ができ、その状況に必要な行動ができる、もしくは周りに指示できるようになります。 |
| 1 | 古林 凜乃 | 三段跳: 12.50m | 日本IC出場 | 今年こそはPBを更新し、日本ICに必ず出場する。また、支えて下さっている方々に少しでも恩返しができるよう、当たり前のことを当たり前に以上に徹底して取り組む。 | 1年次 12.50m(日本IC出場) 2年次 12.65m(日本IC入賞) 3年次 12.80m(日本選手権出場) 4年次 13.00m(日本IC優勝) | 私は家族、仲間、先生方に目頃から支えられていることを実感しています。支援者は、私が目標を達成した際に笑顔で共に喜んでくれます。私にとって、この喜びを分かち合う瞬間が何物にも代えがたいから、目標を達成したいという強い思いを持っています。 |
| 1 | 新穂 佳純 | 走高跳: 1.66m 三段跳: 12.30m | 西日本IC出場 | 西日本ICでは、自分で集中できる環境をつくり、自己ベスト更新を目指します。また、1年を通して怪我なく競技を続けるために、日々の補強やケアを積み重ねていきます。 | 1年次 走高跳1.66m、三段跳12.30m 2年次 走高跳1.69m、三段跳12.40m 3年次 走高跳1.72m、三段跳12.50m 4年次 走高跳1.75m、三段跳12.60m | 最大の目標は日本ICで入賞することです。これまで全国大会に出場することはできず、入賞することはできませんでした。自己記録を更新し続けた先に、入賞という結果が得られると考えており、よりレベルの高い環境に身を置き、自身がどこまで通用するのかわかり続け、限界を突破したいと考えています。 |
| 1 | 江藤 里沙子 | 三段跳: 12.00m | 西日本IC出場 | 支えてくれた家族や指導者へくださった方への感謝を忘れず、挑戦し続ける。 | 1年次 12.00m 2年次 12.15m(西日本IC入賞) 3年次 12.30m(日本IC出場) 4年次 12.50m | 高校生に掛けていた12.00mという目標を達成したいと考えたからです。また、高校生に果たせなかった全国大会出場を実現し、自分の限界に挑戦したいと考えています。 |